

想定外の使い方 速度違反をねつ造!

こりゃ、いくらなんでもヒドすぎる……(絶句)。
パトカーに搭載されたレーザー式の数値計測装置を不正に利用してスピード違反をねつ造し、虚偽の反則切符を交付したなどとして、北海道警察は10月12日、証拠偽造と虚偽有印公文書作成・同行使の疑いで、道警交通機動隊の警部補、吉本潤容疑者(58歳)を逮捕。容疑者の同僚が上司に報告したことで事件が発覚した。同行していた部下3名も取り調べを受けているという。昨年8月から今年5月まで、この不正な取り締まりでねつ造されたスピード違反の件数は47件! 北海道警は「被害者」に対して違反点数の抹消や反則金の返還を進めているというが、警察が偽の証拠で取り締まるなんて、あきれて開いた口がふさがらない。今回の「スピード違反」はどのような方法でねつ造されたのか?

「道警のパトカーに搭載されていたのはTKK(東京航空計器)のLSM-100と呼ばれる

車両をパトカーが速度超過状態で追いかけるが、その車両ではなく、電柱などにレーザーを当てて、スピード違反の証拠をでっち上げたのです。こうして虚偽の違反速度を測定したら、追尾している車両を停車させドライバーをパトカーに乗せる。そして目の前で速度を記録した用紙をプリントアウト、反則切符にサインさせれば「でっち上げスピード違反」が一丁上がりというわけだ(怒)。

「走りながらのレーザーやレーザーでの測定は、裁判になった場合に測定方法をめぐって厄介な議論になるので、全国の警察でも運用を避けることになっているはず。」

そのため、覆面パトカーによる取り締まりも、レーザーやレーザーではなく、対象車両と等間隔、等速度で走り、ストップメーターを動作させて違反速度を測定するやり方が一般的ですから、そもそも「追尾しながら照射」というのは想定外の使い方です。今井氏は今回の違法取り締まりの背景に、レーザー式装置の性能に関する問題があるのではないかとみている。

る速度違反取り締まり装置で、これが不正に使われまし「と語るのは、交通取り締まりなどの問題に詳しいジャーナリストの今井亮一氏だ。この装置を積んだパトカーは北海道や沖縄県などに配備され、北海道警は2015年

4月から導入。現在48台を保有し、装置は一式あたり540万円(税込)するという。「LSM-100はレーザーを対

象車両に照射して速度を測定する仕組みで、本来は道端に停車したパトカーから違反車両にレーザーを照射して測定します。しかし、これを走行

中のパトカーから電柱や看板などの静止物に照射すると、パトカー自体の走行速度が測定されるのです。それを悪用したのが今回の事件で、スピードを出してい

「ねつ造事件」 レーザーを電柱に照射して 不正なデータを計測!! ドライバーが身を守るには?



ふざけんなーとドライバーがブチ切れる警察官の不祥事が発覚した。不正に使われたレーザー式取り締まり装置とは? ねつ造の手口と、警察官が犯行に及んだ背景にある警察の実績主義の問題にも迫る!!

取材文 川喜田 研 取材協力 桐島 瞬 イラスト ぶちめい

北海道警 スピード違反 を許すまじ!!

「新型オービスとして全国で配備が進む速度取り締まり装置に同じTKK製のLSM-300があり、こちらも初のレーザー式オービスなのですが性能面に問題があり、取り締まりにはほとんど使えないようです。」

そうすると、同じレーザー式であるLSM-100も、取り締まりの現場で十分に力を発

揮していない可能性がある。しかし、いくら使えないといっても購入した以上はある程度の実績を上げなければならぬため、スピード違反の偽



造に及んだという可能性もあるのではないのでしょうか? 「法律を守らない警察のいきすぎた実績主義」

ちなみに、逮捕された吉本警部補は取り調べに対して「実績を上げたかった」と語っているという。だが、法を守る立場の警察官が、それも高価な最新式の装置を悪用してまで、「実績」のために違反をねつ造するという感覚は常識では理解できない。

果たして、これは個人的な犯行なのか? それとも北海道警だけだけでなく、全国の警察

でも横行している不正な取り締まりの「氷山の一角」にすぎないのか?

「本来、警察は法の執行機関であるはずなのに、最近、警察がいろいろな面で法律を無視する傾向が強くなっています。法律の根拠がない、あるいは法律を拡大解釈するようなグレーな手法が常態化しつつあるなかで、ついにここまで来たかという印象です」と語るのは、元北海道警察警視長で「警察捜査の正体」(講談社現代新書)の著書がある原田宏二氏だ。

「道警では2015年にもシートベルトやチャイルドシートの装着義務違反で20代の巡査長が虚偽の違反切符を32枚もねつ造するという不祥事が起きていますが、今回はその反省が生かされていなく、警察組織の中で中間幹部といわれる「警部補」が